

## 久留米大学を受診した患者さんへ

「胸腺腫および胸腺癌における予後因子並びに治療関連バイオマーカーの探索」の研究に使用する試料について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の試料を使用します。

- 1) 期間：平成 26 年 5 月 20 日～平成 31 年 4 月末まで
- 2) 受診科：呼吸器病センター
- 3) 対象疾患名：胸腺腫、胸腺癌
- 4) 使用する試料：組織

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

**研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。**

**ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。**

- 1) 研究組織：久留米大学

**主任研究者:**

木下 隆 内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科学部門助教

**共同研究者:**

星野 友昭 内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科学部門教授

東 公一 内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科学部門講師

山田 一彦 内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科学部門講師

時任 高章 内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科学部門助教

石井 秀宣 内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科学部門助教

高森 信三 外科学講座教授

河原 明彦 病院病理部主任

2) 研究の意義と目的

久留米大学病院呼吸器病センター(呼吸器内科、呼吸器外科)にて加療を行われた胸腺腫ならびに手術可能であった胸腺癌患者における手術組織や検査組織を用い癌関連遺伝子ならびにPD-L1 などの発現や免疫染色の解析を行い、これらの分子の相互関連、生存率との相関を解析する。抗癌剤などの治療薬を投与した症例に関しては治療と癌関連分子との関係を解析しバイオマーカーとしての有用性を検討する。

3) 研究の方法：

腫瘍組織(ホルマリン固定)および細胞(アルコール固定)において、免疫染色を施行する。

4) 研究期間：平成 26 年 5 月倫理委員会承認後～平成 31 年 4 月末日

5) 上記の試料の使用を選定した理由：手術によって摘出された組織は血液検体などと比べて、病変部の情報が得やすいため。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について

本研究は、正常細胞のゲノム解析は行わないため、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」の対象ではないが、その趣旨をふまえた対応を行い、検体の提供者およびその家族への不利益を最小限に留めるよう配慮する。すべての検体は、連結可能匿名化して用い、原則として研究者は匿名化情報のみを使用するものとする。個人の識別につながる情報は、研究責任者により管理され、連結した遺伝子変異情報が第三者に渡ることはない。個人情報保護については十分な配慮を行う。全ての検体は病理番号を用い、被験者は病理番号およびイニシャルを使用するものとし、被験者に対する守秘に責任を持つ管理者の指示に従う。研究発表時には被験者が特定できないような配慮をする。

7) 研究成果の発表の方法：

本研究は、星野教授の管理下にあり、その指導のもと研究会、学会または論文等によって公表される予定である。当該研究にて特許権等が生み出された場合には久留米大学に帰属する。

8) その他：特になし

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：:

〒830-0011 福岡県久留米市旭町 67

久留米大学医学部内科学講座呼吸器神経膠原病部門 木下 隆

TEL: 0942-31-7560 FAX: 0942-31-7703

E-mail: tkino@med.kurume-u.ac.jp

14039